

酸欠と風

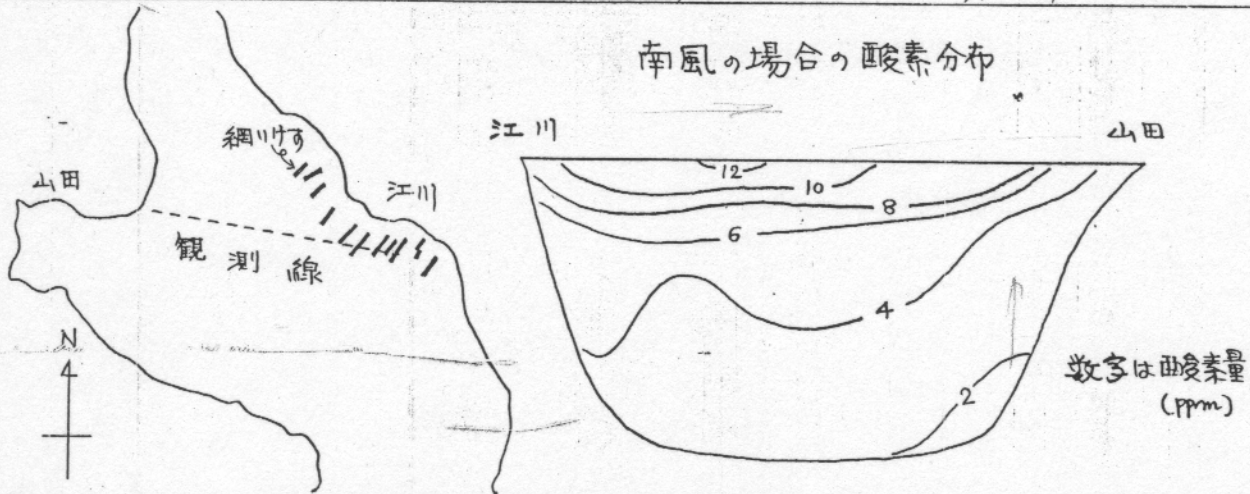
霞ヶ浦、北浦とも、今年の六、七月の酸素状態は、大変順調に経過してきました。例年ですと、梅雨時や、梅雨明け前後に酸素の状態が悪くなるのですが、今年はこのような状況は、全くみられませんでした。これは、南寄りの風が継続して吹いていたためではないかと考えられます。しかし、細かい漁場

にとつて良好な、このような状態も、八月上旬の台風後変わってきました。これまであまり吹かなかった、東や北東の風が吹くようになってきました。

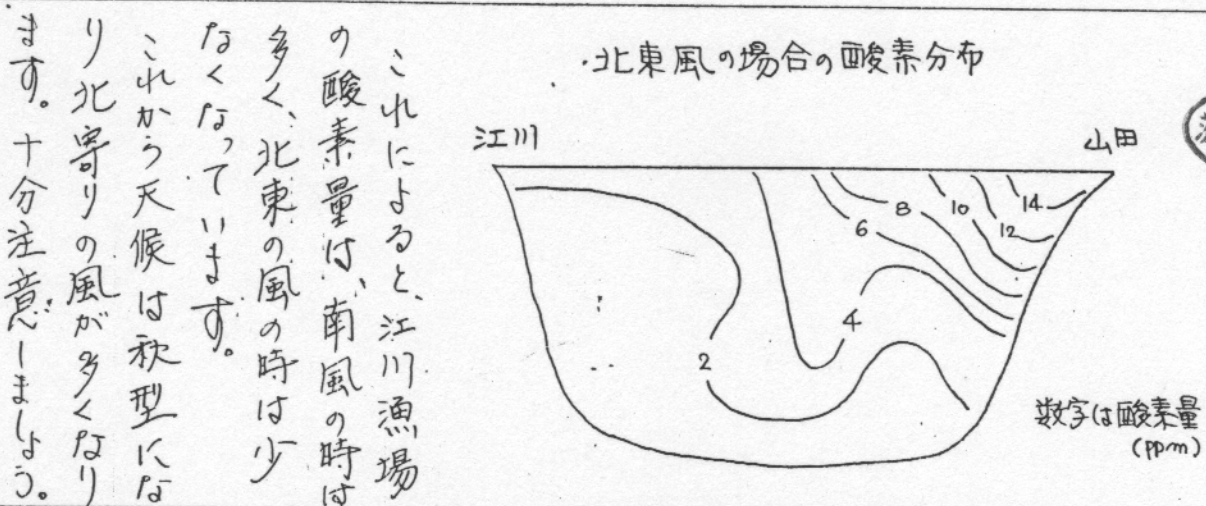
このような北寄りの風が吹くと、霞ヶ浦、北浦の大部分の細かい漁場で、酸素量が少なくなるという事は、今迄にも何度もお話ししました。

下の図は、江川漁場から対岸の山田に向けて、南及び北東の風の際に、酸素量がどのよう分布しているかを調べたものです。

南風の場合の酸素分布



北東風の場合の酸素分布



これによると、江川漁場の酸素量は、南風の際は多く、北東の風の際は少なくなっています。これから天候は秋型になり北寄りの風が多くなります。十分注意しましょう。